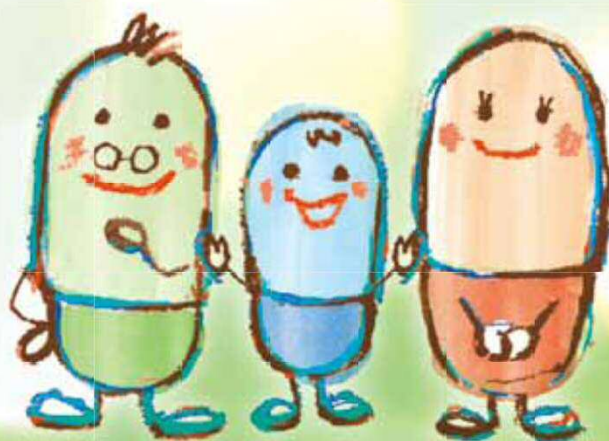


Supplement July.2014 Vol.8 ジェネリック研究

日本ジェネリック医薬品学会 第8回学術大会

講演要旨集

テーマ：ジェネリック医薬品に出来ること
～薬物治療の向上、患者満足度の向上、医療経済への貢献の視点から～



2014年7月12日(土)～13日(日)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

日本ジェネリック医薬品学会
Japan Society of Generic Medicines

	第1会場	第2会場	展示会場
	2F	5F	
	大ホール/受付	小ホール2	小ホール1
9:00			
10:00			
11:00			
12:00		(11:45~12:45) ランチョンセミナー1 共催：東和薬品(株) 「高血圧治療における利尿薬の意義」 座長：室原 豊明 演者：木村 玄次郎	
13:00	大会長挨拶 (12:55~13:00) 岩月 進		
14:00	特別講演 (13:00~14:00) 座長：山本 信夫 「患者の複雑性とジェネリック医薬品」 Dr.Michel Buchmann (国際薬学連合 (FIP) 会長) 「ジェネリック医薬品の世界的利用」 Mr.Luc Besancon (国際薬学連合 (FIP) 事務局長)		13:00 ~ 17:00 企業展示・書籍展示 出展企業 ・(一財)化学物質評価研究機構 ・沢井製薬(株) ・(株)三和化学研究所 ・第一三共エスファ(株) ・テバ製薬(株) ・ニプロ(株) ・(株)日本医療データセンター ・日本ジェネリック(株) ・(株)陽進堂
15:00	大会長講演 (14:00~14:45) 座長：川上 純一 「ジェネリック医薬品に出来ること」 ～薬物治療の向上、患者満足度の向上、医療経済への貢献の視点から～ 岩月 進 (一般社団法人 愛知県薬剤師会 副会長)		書籍販売 ・(株)大竹書店
16:00	招待講演①(15:45~16:45) 座長：山本 信夫 「欧州諸国におけるジェネリック医薬品使用促進策の最新動向」 坂巻 弘之 (名城大学薬学部 臨床経済学教室 教授)	(15:45~17:10) シンポジウム1 「在宅医療とジェネリック医薬品」 オーガナイザー： 小池 博文、漆畑 稔 シンポジスト： 鈴木 忠、大澤 光司	(五十音順)
17:00	招待講演②(16:45~17:45) 座長：武藤 正樹 「ジェネリック医薬品産業を取り巻く諸課題」 城 克文 (厚生労働省 医政局 経済課 課長)		
18:00			
19:00			
20:00			

第3会場	第4会場	評議員会・理事会会場	
	10F		
1001	1002	1007	9:00
			10:00
		10:45 ~ 11:45 評議員会・理事会	11:00
	(11:45~12:45) ランチョンセミナー2 共催：ニプロ(株) 「リユープロレリン酢酸塩注射用キットの製剤開発」 座長：武藤 正樹 演者：宮地 建明		12:00
			13:00
			14:00
			15:00
			16:00
			17:00
18:00 ~ 19:30 懇親会			18:00
			19:00
			20:00

	第1会場	第2会場	展示会場
	2F		5F
	大ホール/受付	小ホール2	小ホール1
8:00			
9:00			9:00～15:00 企業展示・書籍展示 一般演題ポスター掲示
10:00	シンポジウム2 (9:30～10:55) 地域包括ケアシステム実現と後発医薬品の情報共有 オーガナイザー：折井孝男 網岡克雄 山崎亮治 シンポジスト：川淵孝一 恩田光子 坂本岳志	(9:30～11:00) 一般演題口頭発表 2-1～2-6 座長：中嶋幹郎 河合優	出展企業 ・(一財)化学物質評価研究機構 ・沢井製薬(株) ・(株)三和化学研究所 ・第一三共エスファ(株) ・テバ製薬(株) ・ニプロ(株) ・(株)日本医療データセンター ・日本ジェネリック(株) ・(株)陽進堂
11:00			書籍販売 ・(株)大竹書店 (五十音順)
12:00		ランチョンセミナー3 (11:20～12:20) 共催：沢井製薬(株) 「ジェネリック医薬品の付加価値製剤化と オーソライズドジェネリック選択のポイント」 ～2014改定との関係から～ 座長：小池博文 演者：山田真幸	
	12:30～12:50 総会		
13:00	教育講演 (13:00～14:25) 座長：小野信文 「ジェネリック医薬品の品質・情報」 ～改めて、臨床上の有効性・安全性の「同等」を考える～ 緒方宏泰 (明治薬科大学 名誉教授)	シンポジウム3 (13:00～14:25) バイオシミラーの最近の動向と その経済効果 オーガナイザー：四方田千佳子 亀井美和子 シンポジスト：川崎ナナ 五十嵐中	
14:00			
15:00	シンポジウム4 (14:35～16:00) ジェネリック医薬品の安定供給を考える オーガナイザー：緒方宏泰 水野裕之 シンポジスト：石垣栄一 小林宏希 今野和彦	シンポジウム5 (14:35～16:00) 年度改定と流通改善 オーガナイザー：小山信彌 増原慶壮 シンポジスト：南野充則 少林正彦 増原慶壮	
16:00	閉会式		
17:00			
18:00			

第3会場	第4会場	評議員会・理事会会場	
	10F		
1001	1002	1007	
			8:00
			9:00
(9:30～11:00) 一般演題口頭発表 3-1～3-6 座長：杉浦 伸一 外山 聡			10:00
			11:00
ランチョンセミナー4 (11:20～12:20) 共催：日医工(株) 「バイオシミラー市場の現状と展望」 座長：四方田 千佳子 演者：亀井 美和子	ランチョンセミナー5 (11:20～12:20) 共催：サンド(株) 「オーソライズドジェネリック(AG)の可能性と将来」 演者：坂巻 弘之		12:00
			13:00
			14:00
			15:00
			16:00
			17:00
		17:00頃～ 記者会見	
			18:00

大会長挨拶

7月12日(土) 12:55-13:00 第1会場(大ホール)
岩月進(一般社団法人愛知県薬剤師会 副会長)

特別講演

7月12日(土) 13:00～14:00 第1会場(大ホール)
座長: 山本信夫(日本薬剤師会 会長)
「患者の複雑性とジェネリック医薬品」
Dr. Michel Buchmann(国際薬学連合(FIP) 会長)
「ジェネリック医薬品の世界的利用」
Mr. Luc Besancon(国際薬学連合(FIP) 事務局長)

大会長講演

7月12日(土) 14:00～14:45 第1会場(大ホール)
座長: 川上純一(浜松医科大学病院 薬剤部長)
「ジェネリック医薬品に出来ること」
～薬物治療の向上、患者満足度の向上、医療経済への貢献の視点から～
岩月進(一般社団法人愛知県薬剤師会 副会長)

ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について

7月12日(土) 14:45～15:45 第1会場(大ホール)
座長: 村田正弘(日本ジェネリック医薬品学会 品質評価委員会委員長 理事)
「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」
伊豆津健一(国立食品衛生研究所 薬品部)

招待講演①

7月12日(土) 15:45～16:45 第1会場(大ホール)
座長: 山本信夫(日本薬剤師会 会長)
「欧州諸国におけるジェネリック医薬品使用促進策の最新動向」
坂巻弘之(名城大学薬学部 臨床経済学教室 教授)

招待講演②

7月12日(土) 16:45～17:45 第1会場(大ホール)
座長: 武藤正樹(国際医療福祉大学大学院)
「ジェネリック医薬品産業を取り巻く諸課題」
城 克文(厚生労働省 医政局 経済課長)

シンポジウム1：在宅医療とジェネリック医薬品

7月12日(土) 15:45～17:10 第2会場(小ホール2)

オーガナイザー：小池 博文(公立大学法人 横浜市立大学附属病院 薬剤部課長補佐)

楠本 正明(あい薬局代表取締役)

1. 「在宅医療の拡がりの実際と医薬品サプライへのニーズ」
鈴木 忠(医療法人メディカルクラスタ たまふれあいクリニック 院長)
2. 「在宅医療における薬剤師の役割とジェネリック医薬品の活用」
大澤 光司(株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長)
3. 総合討論

シンポジウム2：地域包括ケアシステム実現と後発医薬品の情報共有

7月13日(日) 9:30～10:55 第1会場(大ホール)

オーガナイザー：折井 孝男(NTT 東日本関東病院 薬剤部長)

網岡 克雄(金城学院大学 薬学部 医療薬学 教授)

山崎 亮治(東和薬品株式会社 営業本部 営業推進部長)

基調講演

「地域包括ケアシステム実現と後発医薬品の情報共有」

川淵 孝一(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野 教授)

シンポジウム

1. 「地域包括ケアシステムにおける情報連携の意義～ジェネリック医薬品情報の共有化を中心に～」
恩田 光子(大阪薬科大学 薬学部 臨床実践薬学研究室 准教授)
2. 「在宅医療で薬剤師はジェネリック医薬品を提案できるか」
坂本 岳志(あけぼのファーマシーグループ支援室 在宅支援室室長)
3. 総合討論

シンポジウム3：バイオシミラーの最近の動向とその経済効果

7月13日（日）13：00～14：25 第2会場（小ホール2）

オーガナイザー：四方田 千佳子（一般社団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
大阪事業所 副所長）

亀井 美和子（日本大学薬学部 実践薬学系 教授）

1. 「バイオ後続品の現状と課題」

川崎 ナナ（国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部）

2. 「バイオシミラーの費用対効果」

五十嵐 中（一般社団法人医療経済評価総合研究所 所長）
（東京大学大学院薬学系研究科・医薬政策学）

3. 総合討論

シンポジウム4：ジェネリック医薬品の安定供給を考える

7月13日（日）14：35～16：00 第1会場（大ホール）

オーガナイザー：緒方 宏泰（明治薬科大学 名誉教授）

水野 裕之（名古屋市立大学病院 薬剤部 調剤係長）

1. 「ジェネリック医薬品使用促進のための東京都薬剤師会の取り組みと安定供給への期待」

石垣 栄一（公益社団法人東京都薬剤師会 副会長）

2. 「安定供給の取り組み（供給ガイドラインなど）」

小林 宏希（日本製薬団体連合会 GE ロードマップ対応プロジェクト）

3. 「原薬確保の取り組み（第三者調査機関を用いた共用原薬製造所 GMP 確認など）」

今野 和彦（日本ジェネリック製薬協会 品質委員会委員長）

4. 総合討論

シンポジウム5：年度改定と流通改善

7月13日（日）14：35～16：00 第2会場（小ホール2）

オーガナイザー： 小山 信彌（東邦大学医学部 特任教授）

増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部部長）

1. 「今後の薬局経営におけるジェネリック医薬品流通と薬剤師の役割」
南野 充則（株式会社MEDICA 代表取締役）
2. 「リフィル調剤についての展望」
少林 正彦（株式会社日本医薬総合研究所 専務取締役）
3. 「平成26年度診療報酬改定における後発医薬品の使用促進への影響」
増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 部長）
4. 総合討論

教育講演

7月13日（日）13：00～14：25 第1会場（大ホール）

座長：小野 信文（福岡大学名誉教授）

「ジェネリック医薬品の品質・情報」～改めて、臨床上的有効性・安全性の「同等」を考える～
緒方 宏泰（明治薬科大学 名誉教授）

		第2会場(小ホール2:5F)	第3会場(10階/1001室)
	座長	中嶋 幹郎 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科) 河合 優 (医療法人珪山会 鶴飼病院)	座長 杉浦 伸一 (名古屋大学大学院 医学系研究科) 外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)
9:30		2-1 油中水型ヘパリン類似物質軟膏剤の 先発医薬品と後発医薬品の展延性に 関する比較検討 加賀谷 隆彦 医療法人財団 荻窪病院 薬剤科	3-1 当薬局におけるジェネリック医薬品の 使用実績と今後の課題 小松 正典 霧島市民薬局
9:45		2-2 服用性を改善した徐放性OD錠の開発 飛松 佳江 全星薬品工業株式会社 開発本部	3-2 横浜市大附属病院におけるジェネリック 医薬品導入の取り組みについて 古川 大輔 横浜市立大学附属病院 薬剤部
10:00		2-3 ジェネリック医薬品の製剤特性による 適切な経管投与法の検討 河合 優 医療法人珪山会 鶴飼病院	3-3 ジェネリック医薬品の使用促進に係る 福岡県の取組について(その7) 岩本 尚志 福岡県 保健医療介護部 薬務課
10:15		2-4 T-LEX®法による薬剤性ヒト肝障害リスク 予測データと臨床での薬剤性肝障害発生 頻度データとの比較解析 中嶋 幹郎 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	3-4 ジェネリック医薬品の啓発、普及は、 点活動から面活動へ 横関 優 NPO法人市民の患者学研究会
10:30		2-5 悪性リンパ腫化学療法におけるフィルグラスチム 後続品の有効性及び安全性の検討 木山 聡子 熊本医療センター 薬剤科	3-5 アルツハイマー型認知症患者の生活の質(QOL) に対する先発及び後発医薬品の効果の比較 榊原 幹夫 NPO 法人医薬品適正使用推進機構
10:45			3-6 Business Intelligence を利用した医療情報 マネジメント ～DPCオフィサーによる診療報酬改定の影響度分析～ 関 利一 株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院 薬務局
10:59			

企業展示

一般財団法人化学物質評価研究機構
沢井製薬株式会社
株式会社三和化学研究所
第一三共エスファ株式会社
テバ製薬株式会社
ニプロ株式会社
株式会社日本医療データセンター
日本ジェネリック株式会社
株式会社 陽進堂

(五十音順)

書籍販売

株式会社 大竹書店